



津和野町は、平成17年(2005年)9月25日、旧津和野町と旧日原町が合併して誕生しました。

城下町として知られる旧津和野町は、鎌倉時代に能登の国から入部した吉見頼行に始まり、吉見氏14代、坂崎氏1代、亀井氏11代の時代を経て発展してきました。小藩ながら殖産興業と藩校「養老館」を創設し教育の充実に努めた藩政は、明治・大正期に日本をリードする多くの先哲を輩出し、歴史的遺産と多くの伝統文化に恵まれた町は、山陰の小京都として今なお多くの観光客が訪れています。

一方、旧日原町は、吉見氏の時代に吉見氏の家臣である下瀬氏の居城が置かれ、以後下瀬氏8代がこの地を治めました。江戸時代には、現在の日原地区が徳川幕府の直轄地となり、明治維新まで天領として独自の文化を育んできました。

新町では、これまで旧両町が培ってきた歴史・風土、伝統文化、地域産業等を有効に活用し、新しい時代に向けて住民と行政が一体となった豊かなまちづくりの実現を目指します。二つの町の魅力が一つとなった新津和野町は、輝かしい未来に向けて力強く歩み続けています。

Contents

もくじ

山陰の小京都・津和野	
つわの彩時記	2
清流に抱かれたまち	6
ふるさとの画家、ふるさとの宝	
ようこそ。空想と想像の安野光雅美術館へ	8
明治の文豪 森鷗外	10
つわの人物図鑑	11
地域交流 交流のあるまちづくり	12
産業振興 活力のあるまちづくり	13
福祉・医療・地域振興・教育	
健康でいきいきした明るいまちづくり	14
ふるさと津和野に誇りをもち	
ふるさとを語れる子どもを育てよう	16
町長あいさつ・町民憲章	18
つわのマップ	19

表紙／安野光雅「プラネタリウム」



津和野

歴史と文化の薫る日本のふるさと



津和野町